

高浜発電所4号機の工事計画認可申請の補正書の概要

添付資料2

		<例>																																																													
		前回(平成27年4月15日)	今回(平成27年9月29日)																																																												
【基本設計方針】 ・記載内容の充実	水噴霧消火設備(3・4号機共用、3号機に設置(以下同じ。))により消火を行う設計とし、火災発生時の煙の充満及び放射線の影響により消火活動が困難とならないところは、自動消火設備である海水ポンプの二酸化炭素消火設備並びに可搬型の消火器又は消火栓により消火を行う設計とする。	水噴霧消火設備(3・4号機共用、3号機に設置(以下同じ。))により... (途中略) ...消火を行う設計とする。スプリンクラーは、消火対象が放水範囲内に入る設計とし、動作後は消火状況の確認、消火状況を踏まえた消火活動を実施することを保安規定に定める。 <スプリンクラーの放水範囲と動作後の消火活動を保安規定に定めること記載を充実(下線部)>																																																													
【要目表】 ・記載の適正化	海水ストレーナの最高使用圧力1.2MPa(注3) (注3) 重大事故等時における使用時の値	海水ストレーナの最高使用圧力1.2MPa(注4) (注4) 重大事故等時における使用時の値(A、B海水ストレーナ) <要目表の対象設備を明確に記載(下線部)>																																																													
【要目表】 ・表現の見直し	可搬式代替低圧注水ポンプ出口接続口 ~ スプレイヘッド 50m、10m、5m、1m送水用ホース	可搬式代替低圧注水ポンプスプレイヘッド用 50m、10m、5m、1mホース <要目表に記載の名称の表現を見直し(下線部)>																																																													
【要目表】 ・記載内容の充実	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2">名称</th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="10" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: mixed;">主要仕様</td> <td>天 鐘 高 さ</td> <td>—</td> <td>防範堤(注3) I.P.+7.1m以上(注3)</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">杭基礎形式部(注4)</td> <td>—</td> <td>区間1.3.4 : 30.8(32(注4)) 区間2 : 23.8(25(注4))</td> </tr> <tr> <td>鉄筋コンクリート壁部</td> <td>—</td> <td>鉄骨ビッド部 : 560(600(注4)) 取付継ぎ部 : 480(500(注4))</td> </tr> <tr> <td>地盤改良部(注5)</td> <td>—</td> <td>2,300(2,500(注4))</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">杭</td> <td rowspan="2">—</td> <td rowspan="2">—</td> <td>区間1.4 : 1,000(注4) 区間2 : 1,300(注4) 区間3 : 1,000(注4)、1,800(注4)</td> </tr> <tr> <td>上 部 工</td> <td>—</td> <td>SS400</td> </tr> <tr> <td>杭基礎形式部</td> <td>—</td> <td>SS400</td> </tr> <tr> <td>杭基礎</td> <td>—</td> <td>SKK400</td> </tr> <tr> <td>鉄筋コンクリート壁部</td> <td>—</td> <td>鉄筋コンクリート</td> </tr> <tr> <td>備 災 防 止 工</td> <td>—</td> <td>SS400</td> </tr> </tbody> </table>	名称		変更前	変更後	主要仕様	天 鐘 高 さ	—	防範堤(注3) I.P.+7.1m以上(注3)	杭基礎形式部(注4)	—	区間1.3.4 : 30.8(32(注4)) 区間2 : 23.8(25(注4))	鉄筋コンクリート壁部	—	鉄骨ビッド部 : 560(600(注4)) 取付継ぎ部 : 480(500(注4))	地盤改良部(注5)	—	2,300(2,500(注4))	杭	—	—	区間1.4 : 1,000(注4) 区間2 : 1,300(注4) 区間3 : 1,000(注4)、1,800(注4)	上 部 工	—	SS400	杭基礎形式部	—	SS400	杭基礎	—	SKK400	鉄筋コンクリート壁部	—	鉄筋コンクリート	備 災 防 止 工	—	SS400	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2">名称</th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="10" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: mixed;">主要仕様</td> <td>天 鐘 高 さ</td> <td>—</td> <td>防範堤(注3・4号機共用) 防範堤(注3) I.P.+7.0m以上(注3)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">厚 さ</td> <td rowspan="2">—</td> <td rowspan="2">—</td> <td>1,398.8(1,400(注4))</td> </tr> <tr> <td>790(800(注4))</td> </tr> <tr> <td>杭 径</td> <td>—</td> <td>1,200(注4)</td> </tr> <tr> <td>厚 さ</td> <td>—</td> <td>A508SP-0</td> </tr> <tr> <td>防 潮 壁</td> <td>—</td> <td>鉄筋コンクリート</td> </tr> <tr> <td>杭 基 礎</td> <td>—</td> <td>SKK400</td> </tr> </tbody> </table>	名称		変更前	変更後	主要仕様	天 鐘 高 さ	—	防範堤(注3・4号機共用) 防範堤(注3) I.P.+7.0m以上(注3)	厚 さ	—	—	1,398.8(1,400(注4))	790(800(注4))	杭 径	—	1,200(注4)	厚 さ	—	A508SP-0	防 潮 壁	—	鉄筋コンクリート	杭 基 礎	—	SKK400
名称		変更前	変更後																																																												
主要仕様	天 鐘 高 さ	—	防範堤(注3) I.P.+7.1m以上(注3)																																																												
	杭基礎形式部(注4)	—	区間1.3.4 : 30.8(32(注4)) 区間2 : 23.8(25(注4))																																																												
		鉄筋コンクリート壁部	—	鉄骨ビッド部 : 560(600(注4)) 取付継ぎ部 : 480(500(注4))																																																											
		地盤改良部(注5)	—	2,300(2,500(注4))																																																											
	杭	—	—	区間1.4 : 1,000(注4) 区間2 : 1,300(注4) 区間3 : 1,000(注4)、1,800(注4)																																																											
				上 部 工	—		SS400																																																								
		杭基礎形式部	—	SS400																																																											
		杭基礎	—	SKK400																																																											
	鉄筋コンクリート壁部	—	鉄筋コンクリート																																																												
	備 災 防 止 工	—	SS400																																																												
名称		変更前	変更後																																																												
主要仕様	天 鐘 高 さ	—	防範堤(注3・4号機共用) 防範堤(注3) I.P.+7.0m以上(注3)																																																												
	厚 さ	—	—	1,398.8(1,400(注4))																																																											
				790(800(注4))																																																											
	杭 径	—	1,200(注4)																																																												
	厚 さ	—	A508SP-0																																																												
	防 潮 壁	—	鉄筋コンクリート																																																												
	杭 基 礎	—	SKK400																																																												
	【添付資料】 ・説明図、表の記載内容の充実	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>主要設備</th> <th>通信回線種別</th> <th>専用</th> <th>転送(注1)</th> <th>設置場所及び設置の有無 緊急時対策 中央制御室</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">保安電話</td> <td>電力保安通信回線</td> <td>有線系(光ケーブル)</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>有</td> </tr> <tr> <td>無線系(多重無線)</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>有</td> </tr> <tr> <td>衛星保安電話</td> <td>通信事業者回線</td> <td>衛星系</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>有</td> </tr> <tr> <td>衛星電話(可搬)</td> <td>通信事業者回線</td> <td>衛星系</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>有</td> </tr> </tbody> </table>	主要設備	通信回線種別	専用	転送(注1)	設置場所及び設置の有無 緊急時対策 中央制御室	保安電話	電力保安通信回線	有線系(光ケーブル)	○	○	有	無線系(多重無線)	○	○	有	衛星保安電話	通信事業者回線	衛星系	○	○	有	衛星電話(可搬)	通信事業者回線	衛星系	○	○	有	<p style="text-align: center;">内は可搬の範囲を示す。</p>																																	
	主要設備	通信回線種別	専用	転送(注1)	設置場所及び設置の有無 緊急時対策 中央制御室																																																										
	保安電話	電力保安通信回線	有線系(光ケーブル)	○	○	有																																																									
無線系(多重無線)		○	○	有																																																											
衛星保安電話	通信事業者回線	衛星系	○	○	有																																																										
衛星電話(可搬)	通信事業者回線	衛星系	○	○	有																																																										
【添付資料】 ・説明の充実、説明図の追加		<放水口側防潮堤の止水機能維持評価に関する説明内容の充実、説明図の追加>																																																													
【添付図面】 ・表現の見直し		<機器寸法の記載箇所を変更>																																																													
		【取付箇所】 屋外E.L.+ 8 . 0 m ↓ 屋外E.L.+ 8 m <機器取付箇所の記載内容の統一>																																																													

電気事業法では、原子力発電設備(原子炉本体、燃料設備等)の改造(撤去含む)を行う際は、事前に工事計画の認可を受けることが定められている。現在、撤去を計画している高浜発電所4号機の使用済燃料ピットクレーンメインホイスト(平成27年2月2日の補正申請時より要目表に撤去することについて記載済み)については、この工事計画の認可を要する設備に該当することから、電気事業法に基づく高浜発電所4号機の工事計画認可申請書を、本日、経済産業大臣と原子力規制委員会宛に提出。